

授業実践

1、単元名 「マイシンボルマークを作ろう！」

2、教科 学級活動・道徳

3、学年 中・高学年

4、アプリケーション Adobe Photoshop Elements(アドビフォトショッップエレメンツ)

5、ねらい

自分の長所・特技をシンボル化して表現する。

目標

- ・ 自分のよさを見つけ、明るい毎日を過ごそうとする態度を育てる。(明朗快活な態度)
- ・ 自分の長所・特技を伝わりやすいようにシンボル化する。(表現の技能)
- ・ 自他の作品の工夫や違いに気づき、意見交換する。(鑑賞の能力)

6、作品例



元気よさを青いマークで、心の優しさを赤いハートマークで表現したよ！

7、活動の流れ

- 1、 自分のウリ(長所・特技)を考えて2つにしぼる。
- 2、 ウリをシンボル化し、紙上にラフスケッチをする。
- 3、 Adobe Photoshop Elements でシンボルマークを描く。
- 4、 印刷後、シールや缶バッジにする。
- 5、 作品を鑑賞しあい相互評価する

8、授業のコツ

シンボルマークというのは、あくまで伝えたいことを象徴化(シンボル化)したものでなければいけません。そのために、ごちゃごちゃした複雑なデザインは避けます。「単純なマークのほうが、一目で自分のウリを伝えることができるよ！」と説明すれば、児童も納得します。

マイシンボルマークを作ろう！

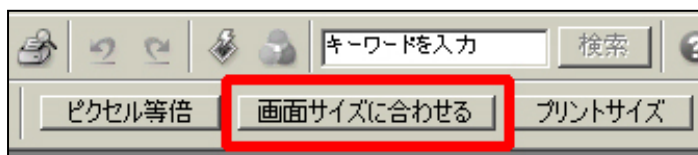
1, ファイルメニューから「新規」をクリックする。

- ・ ファイル名には自分の名前を書く。
- ・ 幅と高さはそれぞれ4cm、解像度は150pixel/inchにする。
(ここで幅と高さを4cmにするのは、あとで直径4cmのバッチを作るためです。違う活用の仕方をする場合は、もっと大きくしてもかまいません。)

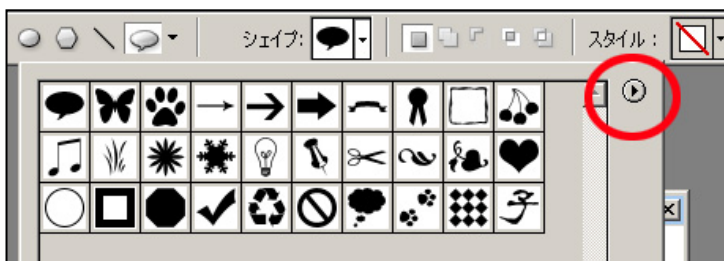
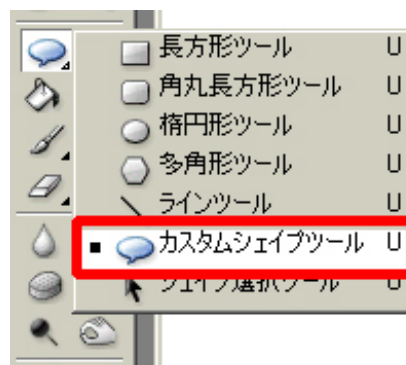


(用紙サイズが小さくて作業がしにくい場合)

- ・ ウィンドウを最大化してからズームツール(虫眼鏡のアイコン)を選択。
- ・ それから「画面サイズに合わせる」をクリックすると画面が大きくなる。



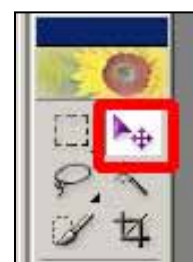
2, Photoshop Elements のカスタムシェイプツールの中から、自分のウリを伝えるマークを探す。



黒い三角マークをクリックして、「*すべてのシェイプ」を選ぶと全部見ることができる。

(ある場合)それを選択して、画面上でドラッグしマークを描く。

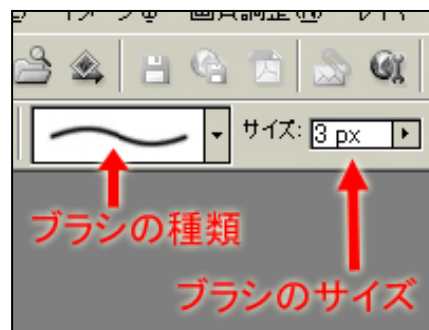
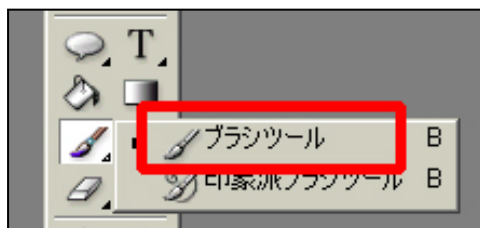
- ・ 描いたシェイプ(シンボルマーク)を移動、または拡大縮小させるときは、移動ツールに切り替える。



(ない場合)

メニューバーの[レイヤー]から[新規] [レイヤー]を選択して、新しいレイヤーを作る。

自分がデザインしたシンボルマークを、ブラシツールで自由に描く。(ブラシの種類やサイズも適当なものを選ぶ)



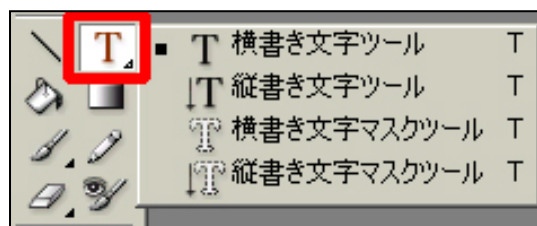
塗りつぶしツールに切り替えて、中を塗りつぶしてもよい。



～ワンポイント～

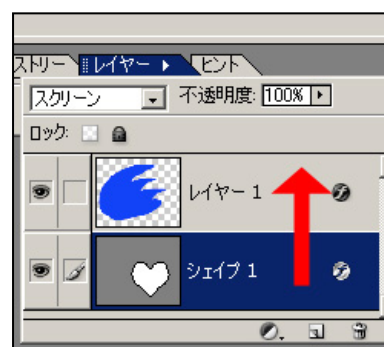
ブラシツールで新たに絵を描くときは、必ず新しいレイヤーを作ってから描きます。そうしないと、他のレイヤー上に直接絵を描いてしまうからです。

3, 文字ツールで学級名や名前を入力する。

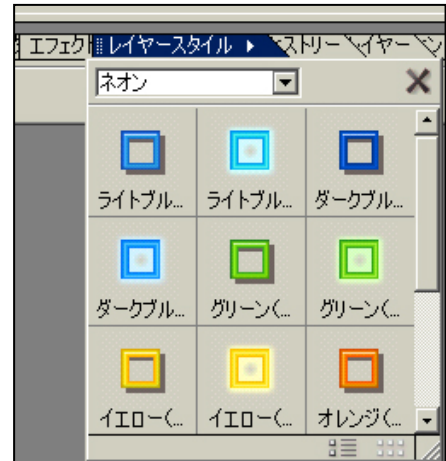


4, レイヤーパレット上で重なり順を変更して、レイアウトを整える。

ドラッグで上に上げると重なり順は上になります。



5, 移動ツールを選択し、レイヤースタイルでそれぞれのマークを加工する。



(レイヤースタイルを使った加工例)



6, メニューバー[レイヤー] [画像を統合]を選ぶ。

～ワンポイント～

この[画像を統合]で、背景写真とその上に書いた絵が一枚になります。これ以降は、絵のレイヤー部分だけを修正したり捨てたりすることはできません。

7, デザインができれば、自分のシンボルマークを学校生活でいろいろ活用してみましょう。

(活用例1)

シール紙に印刷して、教室のロッカーや学習ノートなどにはる。

(活用例2)

「Can バッチ good！」(バンダイ製)という玩具を使ってバッチを作り、名札のかわりにする。

(バッチの作り方については、授業実践マニュアル「自分のマークを缶バッチにしよう」を参照)